

にいがたの環境未来を考える
ワークショップ
企画運営等業務 実施報告書

平成 26 年 11 月
特定非営利活動法人まちづくり学校

目次

1. 事業概要	1
(1) 目的	
(2) 主催	
(3) 開催スケジュールと内容	
(4) 対象者	
(5) 参加者募集方法	
2. 実施報告	4
第1回ワークショップ	4
(1) 実施概要	
(2) 当日のスケジュール	
(3) ワークショップの内容と様子	
(4) グループトークのまとめ	
(5) 第1回ワークショップ参加者のふりかえり	
第2回ワークショップ	14
(1) 実施概要	
(2) 当日のスケジュール	
(3) ワークショップの内容と様子	
(4) グループトークのまとめ	
(5) 第1回ワークショップ参加者のふりかえり	
3. 総括	24
4. 資料編	26
参加団体活動紹介集	

1. 事業概要

(1) 目的

- 環境活動を実施している市民や市民団体、大学生サークルとの交流会を開催することで、世代等の垣根を越えたネットワークを構築し、新潟市域における環境活動の活性化を図る
- 平成26年度改定を予定している新潟市環境基本計画に関して、市民意見を吸い上げ、今後策定する環境基本計画への反映を図る

(2) 主催

新潟市環境政策課

(3) 開催スケジュールと内容

■第1回ワークショップ

ワークショップに参加する団体の「活動内容」と携わる「人」を知り、話し合いを通じて交流を図り、それぞれが連携できるポイントを探る。

日時：2014年10月14日（火）18:30～21:00

会場：万代市民会館4階大研修室

■第2回ワークショップ

計画期間の8年後の新潟市の環境における将来像について、それぞれがイメージする具体的な姿について意見交換し、出された意見を集約・共有化する。

日時：2014年10月28日（火）18:30～21:00

会場：万代市民会館4階大研修室

(4) 対象者

- ・にいがた市民環境会議 会員
- ・市内大学環境系サークル
- ・市報の募集による申し込み者

(5) 参加者募集方法

特定非営利活動法人まちづくり学校がチラシを作成し、下記の通り広報を行った。作成したチラシは次ページに掲載した。

各団体への告知は以下の通りである。

○にいがた市民環境会議

にいがた市民環境会議の事務局である新潟市環境政策課から会員に告知し、参加を呼びかけた。また、10月5日(日)に万代シティで行われた新潟市環境フェアに参加していた会員にも参加募集を行った。

○市内大学環境サークル

特定非営利活動法人まちづくり学校が各団体に告知し、参加を呼びかけた。告知した団体は以下の通りである。

- ・新潟環境ネットワーク N-econet (インカレ)
- ・にいがた環境プロジェクト ROLE (新潟大学)
- ・環境系サークルひまわり (新潟大学)
- ・チーム新大 ECO 学園祭 (新潟大学)
- ・Ecomend (新潟県立大学)
- ・環境研究部 NUISEco (国際情報大学)
- ・新潟青陵大学、新潟青陵大学短期大学部ボランティアセンター
- ・アクティ部 (日本自然専門学校)
- ・にいがたフェアトレード推進委員会
- ・グリーンバード新潟チーム (新潟青陵大学 他)

○市報の募集による申し込み者

新潟市環境政策課が市報に掲載し、市民参加者を募集した。また、第1回目ワークショップ終了後、Facebook ページを立ち上げ、告知を行った。

「みんなで創ろう環境モデル都市にいがた」 Facebook ページ
<https://www.facebook.com/niigata.kankyo.model.city>

にいがたの 環境未来を 考えよう！

市民 × 企業 × 学生が会い
未来を描くワークショップ

〈会 場〉

新潟市万代市民会館 4F 大研修室
(中央区東万代町 9-1)

環境活動に取り組む人や
団体と出会い、活動を発
展させるチャンス！

環境活動に取り組む団
体や企業で構成される
「にいがた市民環境会議」

のメンバーと、環境に関心のある市民、市内の環
境関連の学生サークルを対象としたワークショッ
プを開催します。

さまざまな取り組みがあることを知り、関係づ
くりを行って、それぞれの活動のステップアップ
につなげていきます。また、これからの新潟市の
環境について意見交換し、活動する方々の想いを
共有するとともに、現在改訂中の「新潟市環境基
本計画」に反映させていきます。

参加を希望される方は、氏名・ご連絡先住所・TEL・
メールアドレスを下記申込み先にご連絡ください。

申込みメ切：10月8日(水)

10/5(日) 環境フェア(@万代シティ) 開催！
こちらにもご参加ください

〈主催〉新潟市環境政策課
〈企画協力〉にいがた市民環境会議
NPO 法人まちづくり学校

●お問い合わせ・お申込み先●

新潟市環境政策課(市役所白山浦庁舎2号棟3階)

E-mail kansei@city.niigata.lg.jp

TEL (025) 226-1363 FAX (025) 230-0467

※会場へはできるだけ公共交通機関でお越しください。自家用車利用の方は近隣の有料駐車場をご利用ください。



ワークショップのイメージ

第1回

10月14日(火)
18:30~21:00

〈テーマ〉

環境活動を行う市民や団体、企業、学生
がお互いの活動を知り合います。

第2回

10月28日(火)
18:30~21:00

〈テーマ〉

8年後の新潟市の環境はどうなってる！？
めざすべき将来の姿について意見交換。

立場や世代を超えて、さまざまな
人たちと情報交換ができます！



2. 実施報告

■第 1 回ワークショップ

(1) 実施概要

目的：環境活動を実施している市民や市民団体、大学生サークルとの交流会を開催することで、世代等の垣根を越えたネットワークを構築し、新潟市域における環境活動の活性化を図る

日時：2014 年 10 月 14 日（火）18:30 ～ 21:00

会場：万代市民会館 4 階大研修室

参加者：にいがた市民環境会議 会員 11 名
専門学校生・大学生 10 名
市報による一般公募 6 名

(2) 当日のスケジュール

17:00 ～ スタッフ集合・会場準備・打ち合わせ

18:00 ～ 受付

新潟市の大きな地図に各団体の活動拠点の位置にシールを貼る。

18:30 ～ 開会

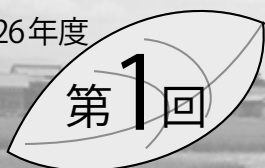
18:50 ～ ウォーミングアップゲーム

19:30 ～ 活動紹介

20:50 ～ 次回 WS の説明・ふりかえりシートの記入

21:00 閉会

平成26年度



2014年10月14日(火)18:30～21:00

万代市民会館4階大研修室

にいがたの環境未来を考える ワークショップ

ワークショップに参加する団体の「活動内容」と「人」を知り、話し合いを通じて交流を図り、それぞれが連携できるポイントを探ります。

～ 本日のプログラム ～

18:30～ オープニング

挨拶・趣旨説明

ワークショップの概要説明

18:50～ ウォーミングアップゲーム

ワークショップにどんな人が参加しているのか
知り合おう！

19:30～ 活動紹介

各団体の活動をより知って、連携できそうな
ポイントを探ろう！

20:50～ クロージング

次回ワークショップの説明

ふりかえりシートの記入

21:00～ 終了

次回

10月28日(火)18:30～21:00

万代市民会館4階大研修室

8年後の新潟市の環境における
将来の姿について意見交換します。

(3) ワークショップの内容と様子

◆参加者の活動拠点



開会前の交流やどんな方が参加しているか知るために、参加者の皆さんが市内のどの辺りに活動拠点を持っているか地図にシールを貼り、表した。

市内各地で活動している方々が参加していることがわかる。

◆参加団体活動紹介集

どんな団体が参加しているか把握するため、また、ワークショップ終了後にお互いに連絡が取り合えるようにするために「参加団体活動紹介集」を作成した。これは、事前に参加団体の方に団体名や代表者名、連絡先、活動目的や活動内容等を聞き、作成したものである。作成した活動紹介集は、本報告書の4. 資料編に掲載している。

◆オープニング

新潟市環境政策課と進行役である特定非営利活動法人まちづくり学校より、ワークショップの目的と内容、進め方を説明した。

また、平成25年3月に新潟市は政府から環境モデル都市に選定されたことから、環境モデル都市について説明した。環境モデル都市とは、温室効果ガスの大幅な削減など低炭素社会の実現に向け、高い目標を掲げて先駆的な取り組みにチャレンジする都市のことである。



◆ウォーミングアップゲーム

どんな方たちが参加しているのか知り合うためにウォーミングアップゲームを行った。自分が居心地の良い場所・好きな場所をA4用紙に書き、同じことを書いた人を探し、近くに集まった。次に1つの円を作り、全体に向けて簡単な自己紹介と居心地の良い場所・好きな場所を紹介した。また、紹介後に番号を振り、グループ分けを行った。



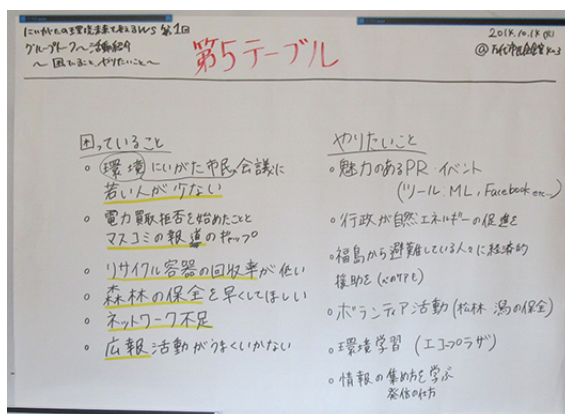
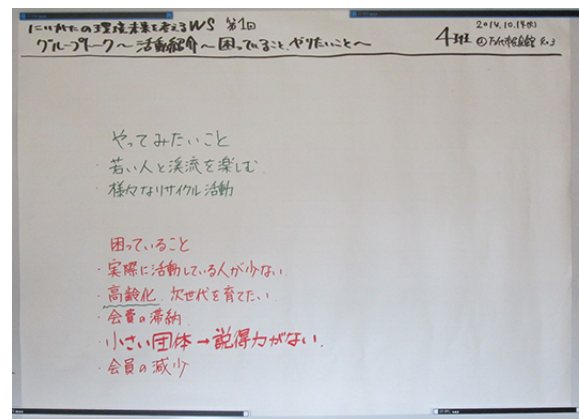
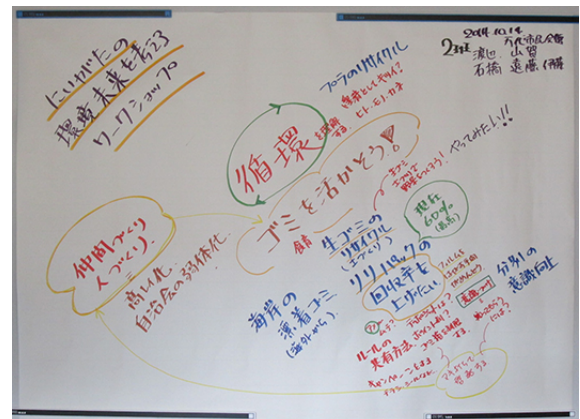
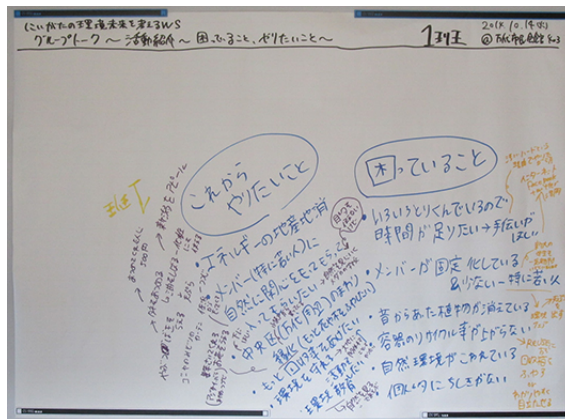
◆グループトーク～参加者の活動紹介と困っていること&やりたいこと～

まず、グループごとに活動紹介を行った。A4用紙1枚を4等分し、「団体名・名前」「団体・活動の売り・自慢」「今困っていること」「これからやってみたいこと」の4つを記入し、紹介した。

紹介後、困っていることややってみたいことに対してそれぞれが持っている情報を出し、連携できそうなポイントを探った。



グループごとに話し合った内容はそれぞれのグループで模造紙にまとめた。その写真を掲載する。



以下にグループトークや発表の様子を掲載する。



(4) グループトークのまとめ

グループごとに話し合った内容を1つにまとめると以下の通りである。

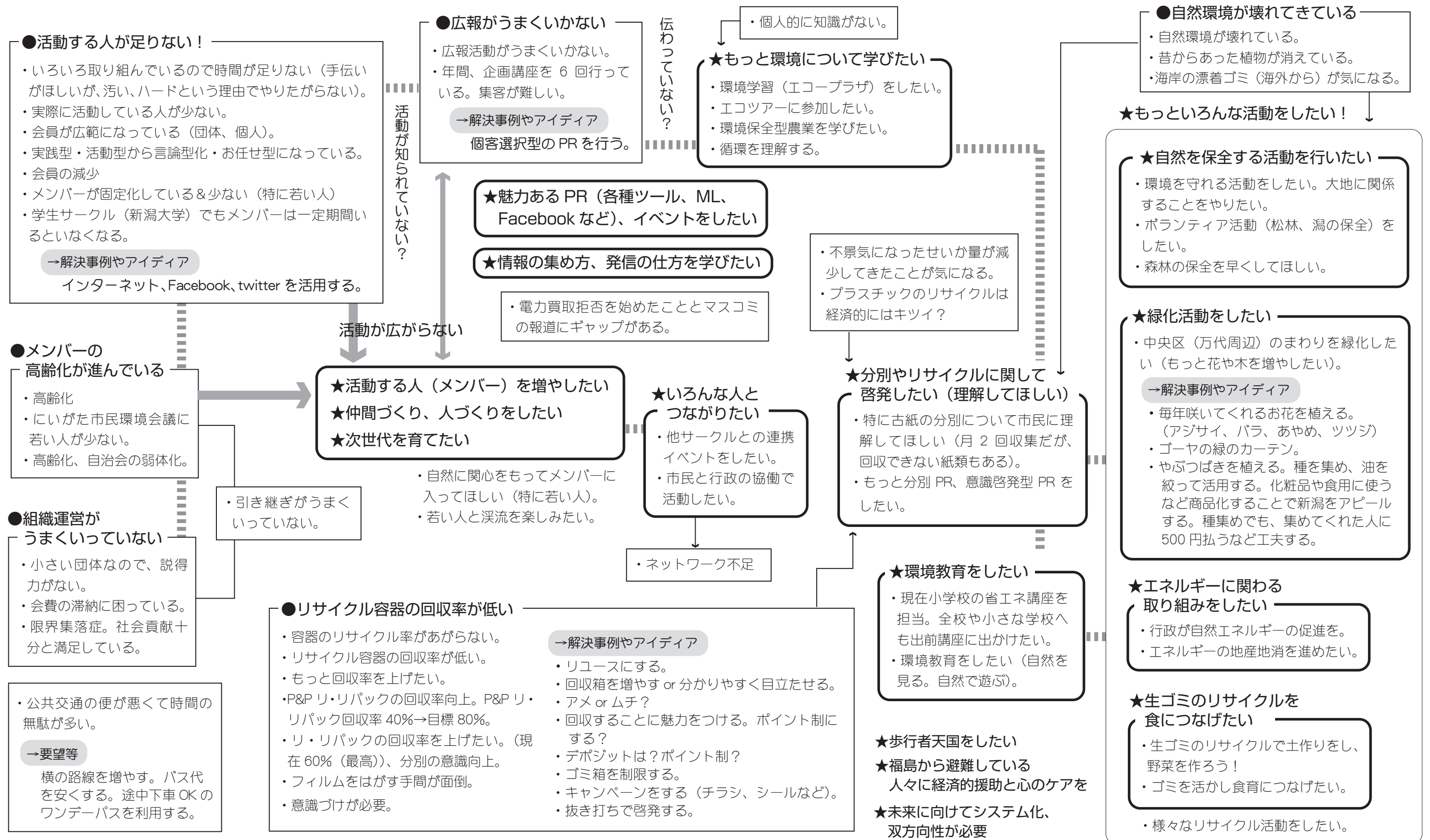
◆発表内容の当日記録



グループトーク ～参加者の活動紹介と困っていること&やりたいこと～

作成：NPO 法人まちづくり学校

第1回ワークショップでは、グループごとに「団体名・名前」「団体・活動の売り・自慢」「今困っていること」「これからやってみたいこと」の4点を紹介し合い、個人や団体について知り合いました。
このまとめ資料では、話し合いの際にグループごとに記録した模造紙を元に、困っていること、やりたいことを1つにまとめました。関係する内容は線で結んであります。【●→困っていること ★→やりたいこと】



(5) 第1回ワークショップ参加者のふりかえり

○あなたが今日、学んだことは？

- ・環境にも種類が多い中で緑というキーワードがグループの中でまとまった事が良かった。
- ・さまざまな方々が循環型社会を考えていることが感じられました。
- ・学んだよりは、感じた事として、環境をキーワードに興味を持つ学生が多い事を知った。
- ・いろいろな立場、意識で環境に対する関心があること。
- ・大勢の人が環境に関心を持っていることが判った。
- ・最近の各団体の活動情報を知った。
- ・色んな活動グループがあるって事を知りました。
- ・新潟に多くの環境系団体があること、環境に関心を持っている人がたくさんいること。
- ・学生さんなど多くの方々の活動を知る事ができて楽しい時間でした。
- ・社会人の方も環境問題に様々な角度から取り組んでいることが分かった。また、社会人ならではの意見ももらえた。
- ・自然環境に取り組んでいる事は大切だと再認識しました。
- ・自然保護ってなんなのか？色々なやり方があるんだなあ～
- ・活動展開方法の違い。
- ・“環境”と一口に言っても、いろんな引き出しや観点があって、まったく違うように見える物事でもそれらをつなげることは可能であるということ。
- ・環境問題はとても幅広いので多くの問題点、めざす点がみえた事。
- ・自然環境、社会環境と異なった分野の活動で話自体はかみあわなかったが、困っている事や、やりたい事の方向性は同じだと思った。
- ・他団体も高齢化、活動が広がらないなど同じ問題点があることがわかった。
- ・各々の問題にしっかり向き合おうとしている。
- ・みなさん困っているんだなあと思いました。方策はない訳ではないと思いました。あと・・・若いっていいなあ（笑）
- ・つながる場を多くの人が求めているということ。→こういうWSが多くあること+そこから先どうつながるか→そこが大事！！
- ・みなさんの悩みが割と自分と同じでした。（環境啓発の難しさや会員集めなど）
- ・情報収集の場は意外と近くにあるということ。情報発信手段を知ることができた。
- ・広報はターゲット・対象をしばると効果的。
- ・自分達が広めたい情報はただビラを闇雲に配るだけではだめで、知りたいと思っている人に伝えることが重要。当たり前のことだけど、それがなかなか難しい。
- ・資源リサイクル協会の悩み。
- ・新潟大学 P&P リ・リパックの回収率の悩み。
- ・たくさん学ぶことができました！勉強になりました！未知の世界でした（笑）
- ・それぞれが地元のことをよく知っている、知ろうとしている。
- ・区によってゴミの燃やし方が違うというのは新鮮な驚きでした。

○あなたが今日、よかったこと、残念だったことは？

- ・自分のやりたい事につながる人会えたかも？
- ・参加団体の活動紹介を知った事。
- ・グループ内で団体相互の現状（問題点、意見交換）
- ・みんなの共通点・つながりを見つけられたこと。
- ・多くの仲間と知り合えた事。
- ・いろんなことをしている人たちと出会えたこと。
- ・普段、関わりのない同じ目的を持っている人と知りあえた。
- ・いろいろな活動をなさっている方と知り合いになれてとても有意義でした。

- ・大学生が参加してくれたこと。
- ・若い人達と幅広い話が聞けて良かった。
- ・世代のちがう人たちの意見をきけたこと。
- ・様々な立場の人の話、意見を聞いた。
- ・とても興味のあるお話がたくさん聞けました。
- ・社会人の方々の価値観や考え方を聞いたことはよかった。
- ・社会人の方との意見交流ができた。
- ・悩みや問題に対し、建設的な意見が出たこと。
- ・三人いれば文殊の知恵。ディスカッションする大切さ。
- ・1つのアイディアから多くの新たな意見がきけたこと。
- ・ほとんど受け身だったのは反省点です。
- ・もう少し質問したかったです。
- ・学生と大人の悩みのギャップが大きく、共有しづらかった。学生同士で話したいこともあった。
- ・自分の意見が少ないこと、考えがまとまらないこと。
- ・あっという間の2.5hでした。楽しかったです。ありがとうございます。
- ・時間が足りない！！
- ・時間が足りない←残念だったこと。
- ・もっと時間がほしかった。
- ・リサイクルの方法が完成せず、検討中で終わったこと。
- ・もう少し限定したテーマで話し合いをしたかった。
- ・14日に何をするのか、28日に何をするのか。ざっくりでも教えていただけるとありがたかったです。(チラシに書いてあるとか)
- ・学生の悩みが判ったが、世界の情報が極端に少ないのではと判った。活用したい。
- ・電力買い取り拒否を始め、電力会社の電力の状況の現実とマスコミの発表のギャップがあることを知り、現実を知るには広い目をもっていることが大切。
- ・菌ちゃんのお仲間が増えそうです。
- ・残念だったのは人のモラルの無い人がいるという事。

○その他、言い残したことは？

- ・他の方々の意見、考えを聞いて、自分のことを考え直すことができました。ありがとうございました。
- ・学生の意見をもっと聞きたかった。
- ・たくさんあるが～～～。
- ・時間があればもっと深められるのだが。
- ・もっと時間を多く。多くの方々の話をお聞きしたかった。
- ・他のグループの方と交流してみたかった。
- ・一つの課題について話し合いをしたい！！
- ・PRの方法で成功している方のお話を聞けると助かる。
- ・環境だけでなく、子供達をどう育てていくのかをテーマにしてやる事もしないとうまくまわってつながっていかないと思う。
- ・2回ではなく、若手人材育成として1年間の会にできないかな～♡
- ・次回も楽しみにしています。
- ・特になし。皆がより良き社会にむけて・・・。
- ・なし

■第2回ワークショップ

(1) 実施概要

目的：平成26年度改定を予定している新潟市環境基本計画に関して、市民意見を
吸い上げ、今後策定する環境基本計画への反映を図る

日時：2014年10月28日（火）18:30～21:00

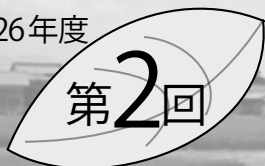
会場：万代市民会館4階大研修室

参加者：にいがた市民環境会議 会員 9名
専門学校・大学生 17名
市報による一般公募 8名

(2) 当日のスケジュール

17:00～ 会場準備・打ち合わせ
18:00～ 受付
18:30～ 開会
18:40～ ウォーミングアップゲーム
18:50～ 新潟市環境基本計画について説明
19:00～ 意見交換
20:20～ 未来に向けて私たちができること
20:50～ 今後について説明・ふりかえりシートの記入
21:00 終了

平成26年度



2014 年 10 月 28 日 (火) 18:30～21:00

万代市民会館 4 階大研修室

にいがたの環境未来を考える ワークショップ

8 年後の新潟市の環境における将来像について意見交換し、来年度改訂される新潟市環境基本計画に反映します。

～ 本日のプログラム ～

18:30～ オープニング

挨拶・趣旨説明
ワークショップの概要説明

18:40～ ウォーミングアップゲーム

頭を使う前に体を動かします。

18:50～ グループトーク

8 年後の新潟市の環境はどうなっているといいか、どうして
いきたいかをグループごとに意見交換をします。

20:20～ 未来に向けて私たちができること

グループワークで考えた新潟市の環境の将来像に向けて
これからやりたいこと、できることを共有します。

20:50～ クロージング

ふりかえりシートの記入

21:00～ 終了

みんなが気持ちよく
話せる場をつくるために

- ◆多様な意見が大切にされるような場をみんなで作る気持ちで進めましょう。
- ◆10 代から 70 代まで多世代が参加しています。全員が楽しく話せるようにしましょう。

(3) ワークショップの内容と様子

◆オープニング

新潟市環境政策課と進行役である特定非営利活動法人まちづくり学校より、ワークショップの目的と内容、進め方を説明した。また、第1回ワークショップのふりかえりも行った。

◆ウォーミングアップゲーム

2回目のワークショップからの参加の方もいたので、緊張をほぐすためにゲームを行った。

2人ペアで握手と簡単な自己紹介を行った後、1つ相手の良いところを褒め合った。これを2分間繰り返した。

体と心があたたまり、和やかな雰囲気で行ったワークショップを進めることができた。



◆策定中の新潟市環境基本計画について説明

今年度策定中の環境基本計画について新潟市環境政策課から説明した。改訂版新潟市環境基本計画の施策の目標（視点）は、①環境教育と協働の推進、②生物多様性の保全、③循環型社会の創造、④快適な生活環境の保全、⑤低炭素社会の創造となっている。

また、環境基本計画の対象とする環境（環境の定義）は、以下の表の通りである。

自然環境	河川・湖沼等の湿地、里山、野生動植物・生態系、農地 など
生活環境	水環境、大気環境、土壌環境、音環境、廃棄物・リサイクル など
快適環境	緑、水辺、景観、歴史・文化遺産 など
地球環境	地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨 など

◆グループトーク～新潟市の残したい環境・自然～

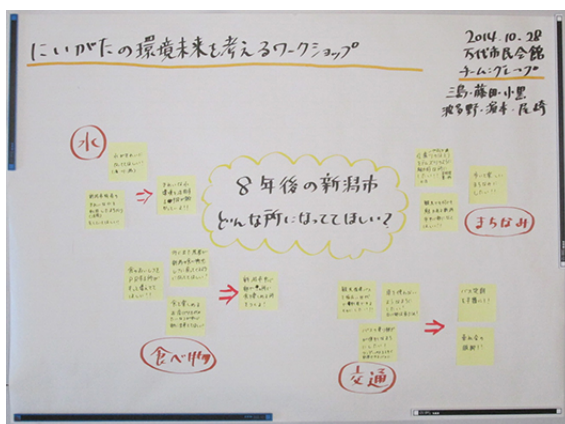
グループごとに1人ずつ簡単な自己紹介と一緒に、新潟市の残したい環境・自然の発表を行った。参加者が思う新潟市の大切な自然環境を明らかになった。



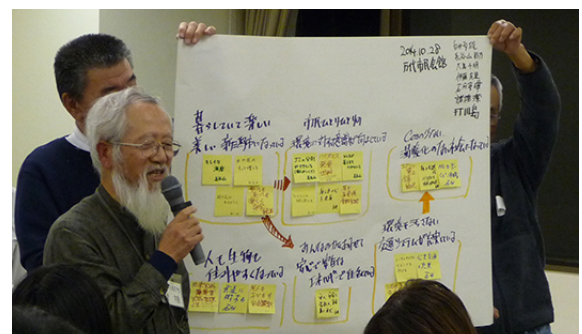
◆グループトーク～新潟市の環境における将来像～

「新潟市の環境における将来像」について、8年後の新潟市の環境はどうなっているといいか、どうしていきたいか、できるだけ具体的な言葉で表した。

グループごとに話し合った内容はそれぞれのグループで模造紙にまとめた。その写真を掲載する。



以下にグループトークや発表の様子を掲載する。



◆未来に向けて私たちができること

グループワークで考えた新潟市の環境の将来像に向けてこれからできること、やりたいことを A4 用紙に記載し、一人ずつ発表した。



(4) グループトークのまとめ

グループごとに話し合った内容を 1 つにまとめると以下の通りである。

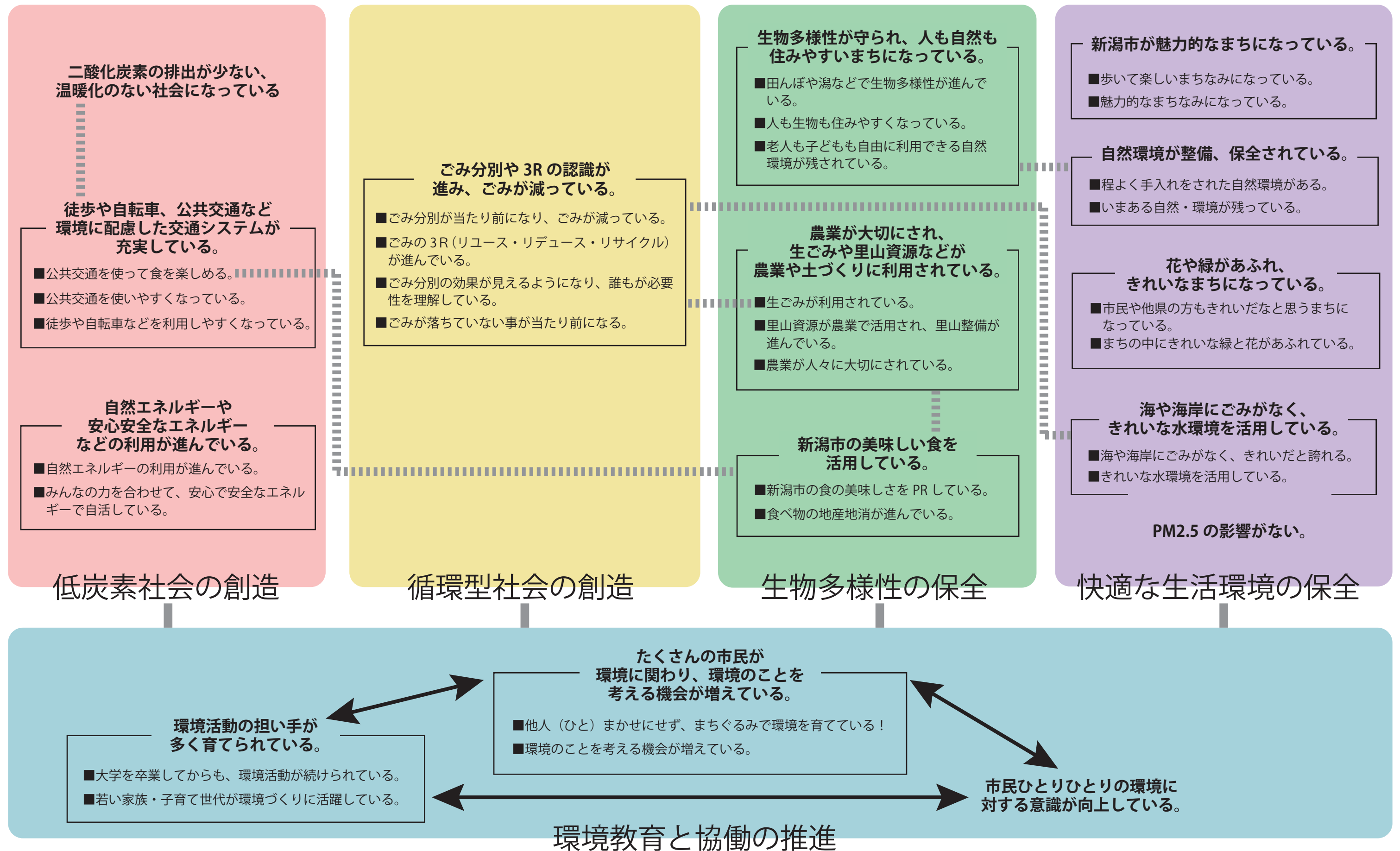
◆発表内容の当日記録



グループトーク～新潟市の環境における将来像～8年後の新潟市の環境はどうなっているといいか、どうしていききたいか～

作成：NPO 法人まちづくり学校

第2回ワークショップでは、「新潟市の環境における将来像」について8年後の新潟市の環境はどうなっているといいか、どうしていききたいか、グループで意見交換を行いました。このまとめ資料では、グループごとの話し合いの結果を現在策定中の新潟市環境基本計画の施策の目標に合わせて分類しました。関係する内容は線で結んであります。



(5) 第2回ワークショップ参加者のふりかえり

○あなたが今日、学んだことは？

- ・環境教育の大切さ
- ・環境教育の重要性
- ・教育が重要である。
- ・「環境教育はすべき」ということ。
- ・多くの環境問題の根本には「環境教育」が必要だということ。
- ・環境教育など一人ひとりの意識をもたせることが大切。
- ・市民参加型の環境教育が必要である！！
- ・次世代の人たちの環境教育に力を入れていくべき（保育園、小学校など）
- ・環境教育が大切。周りの人を巻き込んでいくことが大切。
- ・自分だけが環境について考え、行動するだけでなく、周りを巻き込んでいくことが大切！！
- ・市民を巻き込む
- ・自然環境、生活・社会環境と切り口は違ったが本日集まった人は意識の高い方々だったが、これが市民にいかに関わるか大切だと思う。
- ・分別から始まる環境教育！
- ・環境に向けて、ごみの分別など小さなことがつながる大切さを改めて感じ学んだ。
- ・若い世代が街にいと活気が出ること。
- ・若い人が大勢の協力希望があることを感じた。
- ・若者たちがごみの分別に関心をもっていて期待できることを実感しました。
- ・人間多様性。若者も元気。新潟も捨てたモンじゃナイ
- ・若い人たちがとてもしっかりした意見を持っていることがわかりました。環境に熱心に取り組んでいる方がたくさんいることがわかりました。
- ・色々な世代の方、男女問わず新潟を愛していて、もっと新潟を良くしたいと願っている方・活動している方がいることを知りました。→刺激を受けました。
- ・1人1人がすごくしっかりと環境について考えていると感じました。知識がないので、あまり話せなかったのが、知識を得たいです(>_<)
- ・1回目よりも意見がたくさん出たと思う。続ける事で良い意見も出てくるものである。
- ・知恵を出し合うことで素晴らしいまとめができたこと。
- ・環境の対策ばかりに目がいってばかりで残念。
- ・いろいろな意見・考えをもった人がいる。
- ・環境に対して、いろんな切り口があること。
- ・“環境”といっても様々な面がある。正しく理解することが大事。
- ・自分の活動に対し、疑いをもって取り組むこと。
- ・ごみの分別や環境保全のためにやっていることがどう良い方向に影響してくるのかを知っていかなければならないと感じました。
- ・自分自身の行動を見直す。
- ・在来種を守る、少し手をかけてあげる →結局人？
- ・友達・仲間の大切さ
- ・8年後の新潟市への期待
- ・新潟が今どんな状態にあるかという実態を知ることができた。また、そこから考えられる様々なアプローチを学ぶことができた。
- ・新潟には私の知らない魅力ある自然がたくさんあるのですね。
- ・新潟のいいところ再発見。改めて、環境とは何か、将来どのようになってほしいか、ということを考えることができました。
- ・新潟市にはたくさん守りたい、守るべき環境がある。環境を守るのは私たち人であるから、人とつながりをもってみんなで活動していくのがよい。

- ・新潟は川、海、湿地など、水が都市環境に大きく依存している。これを有効活用して、人だけでなく、多くの生き物が暮らせる町づくりが重要！
- ・環境への配慮は市民の豊かな暮らしや楽しみに繋がる！のかな・・・ 環境だけで走るのではなく、都市政策や交通、民間企業とも協力して、地球にも住民にも優しいまちを。

○あなたが今日、よかったこと、残念だったことは？

- ・いろいろな話を聞くことができて良かった。
- ・いろいろな人の話を聞くことは良いことだ。ただ時間が足りなかった。
- ・みなさんの話をたくさん聞けたこと。もっと話を聞きたかった。
- ・様々な人からの意見を聞くことができ、良かった。
- ・様々な人の意見を聞くことで新たな気づきがあった。
- ・色々な人の新潟市や環境の対する思いが聞けた。
- ・よかったこと：様々な立場な人と話せた。
- ・様々な立場の人と話せたこと。
- ・さまざまな年代の方の話、考えを聞くことができた。
- ・いろいろな分野の方と意見交換ができたこと、新しい情報もあった。
- ・自分で思いもしなかった意見が聞けたので良かった。
- ・意見を求められた。
- ・たくさん意見が言えました。（言いすぎだったかも・・・）
- ・聞くことが多かったことが反省点。
- ・周りの意見に圧倒されて、自分の意思表示があまりできなかった。
- ・環境について詳しくなくてあまり考えが言えなかった。
- ・久しぶりに初対面の人達とフリートーク出来たのは○。
- ・自由にディスカッション・グループワークできて良かったです。若い方と交流できて良かったです。
- ・若い人達が多く参加されていて、一生懸命に学んでおられました。とても素直で良かった。
- ・このようなワークショップのやり方は楽しく考えをまとめられてよい。特にまちづくりの会のリーダーがうまくまとめてくれました。
- ・進行役のファシリテーターさんがいたので、学生も話しやすかったと思います。
- ・バイオマスなど、自分が知らないことを知れてよかった。
- ・”環境”といってもたくさんあって視野が広がった。
- ・新潟市の環境教育がもっと充実してゆくのではと思った。環境と云っても、自然・生活・地球 etc、色々あるので、時間をかけて議論したかった。
- ・前回よりもガッツリと話し合いができた。
- ・もっと長時間の話し合いがあったらよかった。
- ・どう行動していけるかという項目も GW で出来たらよかったかなーと思いました！！
- ・2回で終わるのもったいない？
- ・2回開催だけの一過性で×
- ・一緒にやれそうな人が見つかりそう。
- ・参加者自身がどのような活動をしているか知ることができなかったこと。
- ・もう少し交流したかった。
- ・幅広い世代の人、多くの経験をしてきた人との関係を作れた。年齢や所属に関わらず、求めるものは同じでした！勉強になった！
- ・県外から来た学生の参加者が多く、新潟市の自然をほめてくれたのが嬉しかったです。
- ・新潟の環境の実態が分かり、その解決案を提案する機会は得られました。
- ・環境に対しての意識が高まった。
- ・人に伝えて、他の人を環境問題にめざめさせたいとの意気込みがあって良かったと思った。

- ・新潟市の環境をよくしようと本気で考えている人がたくさんいることが良かったです。
- ・活発なグループワークができた。環境活動に改めて魅力を感じた。楽しいグループワークだった。ここでのグループワークの成果、得たものをサークル活動に生かしたいと思った。
- ・もっと新潟市について知るべき、自分が今している活動に意義をもって取り組むべきだと思った。
- ・8年後の新潟の未来像を聞くことができ実現できる方向で取り組むためには、一人一人の市民の自覚が必要であると思いました。
- ・いろいろな環境に対する対策が発表されましたが、それを実行するのは人間です。ですから、人間作り、つまり最初の一步、まちづくりの子育てに力を入れてほしい事に気づいてほしかった。
- ・うまくまとめて発表できなかったのが残念でした。ですが、やらなければうまくはなれないので、発表練習のよい機会になりました。上手な発表も聞くことができました。もっとうまくなれるようにがんばります。
- ・悪かったこと：利害関係をもちこんだ人がいて残念だった。

○その他、言い残したことは？

- ・インターンで廃棄物対策課でお世話になり、リサイクルに関心があったのですが、住環境メインの話になってリサイクルについて話せなかったのが残念。環境問題も奥が深いです。
- ・結果が総花的だった。一步踏み込んだ意見とし、実のある中身にしかった。公務員って本当に大変だと思います。しっかり稼ぎもせず自分の意見ばかり言う人が多いので、思い切った政策をどんどんやっちゃって下さい！！
- ・青森や長野では、スーパーのレジ袋が有料なのは当たり前だそうです。新潟市も他の県に負けないくらいの環境都市になったら最高です！
- ・今日集まる人たちのつながり、きずなを強める方法を話し合いたかった。
- ・自分の知らないことがたくさんありました。まだまだ勉強が足りないので、がんばろうと思います。ありがとうございました！
- ・いっぱい（笑）
- ・3回目をやりたいです。
- ・また、このようなワークショップがあると良いです。
- ・またこのような意見を交換、交わすようなイベントがあれば参加したいです。
- ・ここに参加した人達は極少し。もっと色々な切り口、方式で市民参加を。
- ・緊張するかなと思いましたが、そんなこともなく楽しかったです。
- ・8年後が楽しみです。私もがんばります。
- ・様々な活動に首突っこみます！
- ・1回目にいただいた活動紹介集、ひまわりのメールアドレスが間違っていました。minnnano・・・です。今後ともよろしくお願いします。

3. 総括

ワークショップを終えて ～市民による環境活動の促進に向けて

本業務は、新潟市内で環境活動に取り組む団体と、大学の環境系サークルや専門学校で活動する若者たち、関心のある市民のネットワーク化をはかり、それぞれの活動の発展と促進をねらいとして実施した。団体どうしは「にいがた市民環境会議」が情報交換の場となっているものの、団体に属さずに活動している市民や学生とのつながりはほとんどなかった。

今回、さまざまな団体や個人が一堂に会し、それぞれの活動や取り組む想いを知り意見交換を行ったことは、参加した方々にとって大きな刺激となったようだ。めざす方向が同じでもあっても、その想いや実践方法は世代や立場によって異なり、その違いからそれぞれの今後の活動に役立つヒントが得られたと言える。

市民団体や学生サークルという立場の違いはあるものの、それぞれの活動における課題は共通する部分が見られた。多くの参加者から、「ともに活動する仲間が増えない」「後継者がいない」「活動の実績が上がらない」といった課題が出され、これに対しては、さまざまな要因が浮かび上がってきた。一つは、活動の意義やその内容が広く伝わっていないため、理解や共感が生まれず実践者が増えない、ということである。また、組織運営がうまくいかないために活動を助けられていないことも見えてきた。

一方で、「もっと活動したい」「新しい取り組みを行いたい」という想いや、東日本大震災以降に大きく動き出したエネルギー問題に対する活動をはじめ、新たな取り組みの広がりなども意見交換の中からあがってきた。自分たち自身の学習や、環境に対する教育の重要性も強く認識されている。

これらのことから、今後の新潟市の環境活動の発展と促進に向け、以下の取り組みを進めることを提案する。

○組織運営や広報のスキルアップ、環境活動の動向や今後の方向性などに関する学習会を実施する。

多くの団体が担い手不足や活動の停滞に悩んでいる。その原因となる「組織運営のあり方」や「広報」について、スキルアップを図る学習の機会を設ける。また、社会状況や時代の変化により日々進歩している環境活動の動向や今後の方向性など、活動自体の最新情報などを得られる機会も必要と考える。

○今後も定期的に、環境活動に関わる人や団体どうしの情報交換・意見交換の場を設ける。さらに、話し合いだけでなく、立場や世代を越え協働で行うプロジェクトを実践する。

各種メディアを通じた情報交換だけでなく、直接会い話をすることは一方的な情報発信を避け、人どうしのつながりを構築しやすくなる。新しい活動のアイデアが生み出される可能性も高い。今回のワークショップのような情報交換・意見交換を定期的に続けていくことは重要である。さらに、意見交換を進めることで、複数の団体や人どうしが協働で行うプロジェクトの実践を期待したい。

これらは、それぞれの弱点を認識し補い合うとともに学びを得ることができ、次の活動に活かすことにつながるだろう。また、次項の「プラットフォーム」や中間支援機能など、これからの活動発展において必要な機能に対し、意見交換の場の運営やプロジェクトの実践を行うことで少しずつでもその機能を作り上げていく期待がもてる。

○新潟市の環境活動に取り組む人たちの情報交換の場であり、関心を持つ市民にとっての“入口”になり得るプラットフォーム（「エコやろてば！」）をより充実させる。

ウェブサイト「環境大作戦エコやろてば！」をはじめとする市民活動促進のためのプロジェクトが推進されているが、現在活動する人たちやこれから何か取り組みたいと考える人にとっての「プラットフォーム」機能を高めていくことが重要と考える。活動に悩んでいたたり、新しい情報を得たい、環境に対する活動を始めたい、などと考える人たちがまずアクセスし応える場があることは活動促進や拡大に効果的である。このプラットフォーム機能はウェブサイトを使いやすくすることでもあるが、実際の活動でも用意されていることが望ましい。前項で示した各団体や人どうしのネットワーク化と実践活動によって構築していくことを期待する。

環境に対する取り組みは行政が打ち出す施策の実施だけでなく、市民一人一人の行動が伴わなければより良い環境を享受することはできず、めざす将来像を作り上げていくことはできない。新潟市は環境モデル都市としてさまざまな取り組みを進め、市民活動や企業の取り組みも積極的に行われている。しかしながら市民活動においては課題も顕在化している。これらを解消し、「なんとかしたい」「良くしていきたい」という想いを具体的な成果につなげ、めざす将来像の実現に向けて一歩ずつでも進めていきたい。

4. 資料編

活動紹介集